

# 真寔週報

編輯局報情  
一月廿二日第七十七號

支那事變五周年





# 重慶に最後の日まで

支那事變五周年七月一日



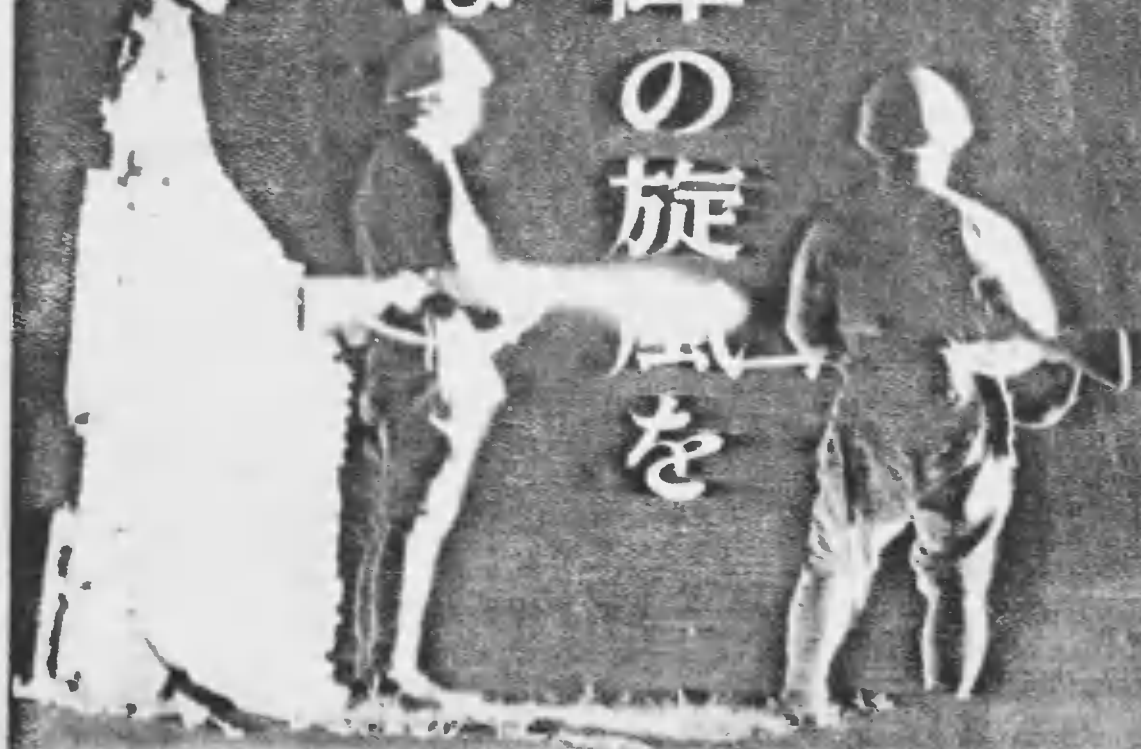
重慶軍の緊縮こそは  
大東亞戦争完結の第一目標で  
ある。あらゆる犠牲を払い、  
大陸の戦野に奮戦する在支陸  
海軍將兵の勞苦を偲び、決意  
を新たにして戦勝の完結を期  
さうではないか  
重慶軍門に決死隊

在支皇軍不斷の努力は新中  
國の建設に、あるひは米英等  
滅戰の發展へと、輝かしい前  
進の足跡を残して、こゝに滿  
五年を迎へたが、奥地へ掘け  
込んで僅かに余喘を保ちなが  
ら持ち米英との連絡路を断た  
れ自棄的な自力抗戦を叫んで  
ゐる重慶軍に對して皇軍總機  
の手は些かもゆるんでゐない  
大陸全線にわたつて随時に展  
開した皇軍の有効適切な作戦  
は重慶抗戰隊形の根幹に痛撃  
を加へ、残存敵軍の抗戰態勢  
に致命的な打撃を與へてきた  
去る六月二日以來、浙江、  
江西省境に展開された作戦こ  
そは敵軍視同麾下の第三戰區  
を徹底的に覆滅し、米英聯合  
作計畫を不能にし、あるひは  
福建を孤立に陥れる等重慶抗  
戰力に大打撃を與へ、敵總反  
抗の意圖を完膚なきまでに粉  
砕した

## 時 立 の 札

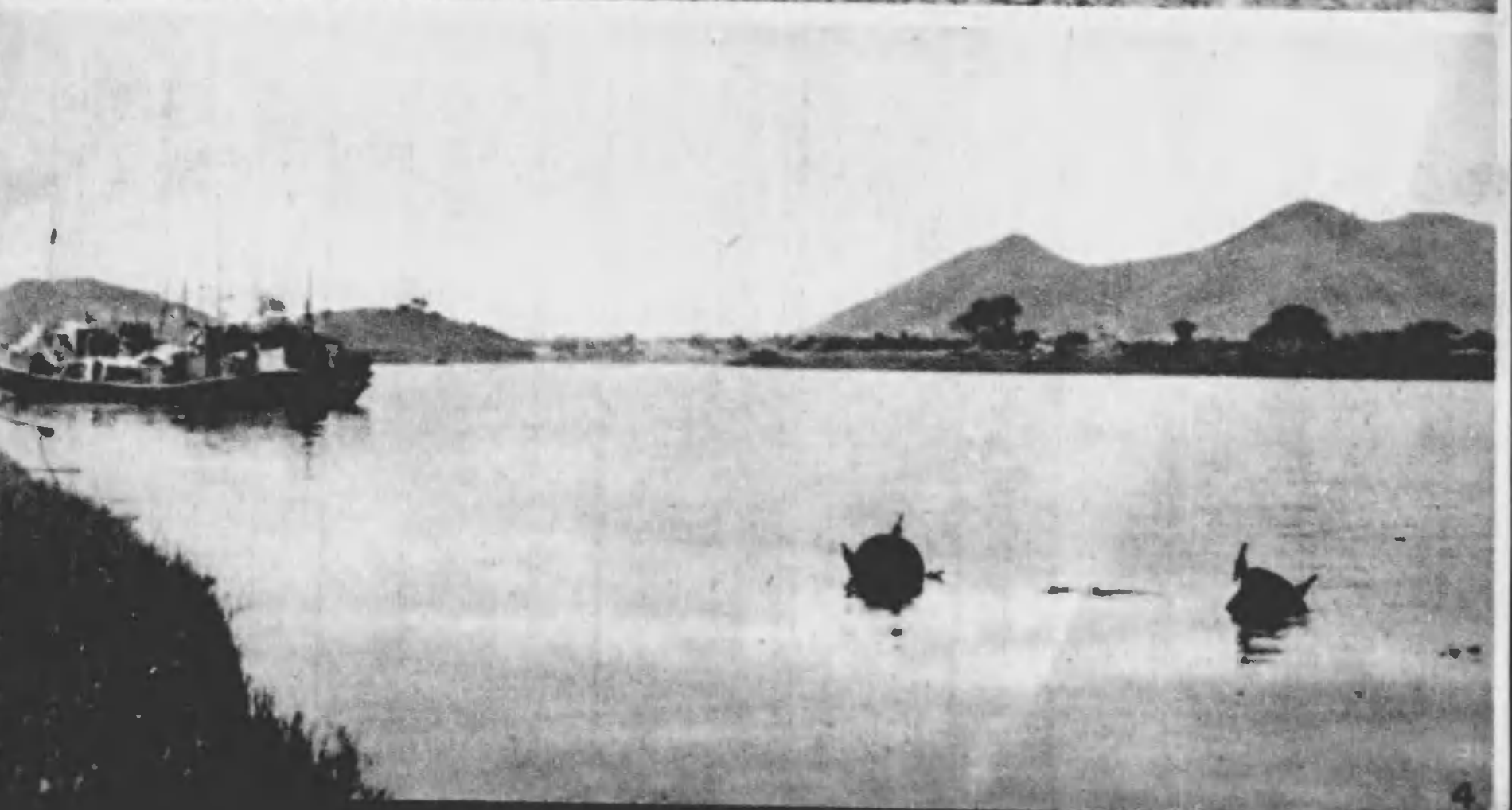
昭和十七年七月一日

蘆溝橋にあがつた一發の狼火は  
大東亞に新らしい歴史を呼ぶ號砲であつた  
大陸に響く建設の槌音を  
南北にあがる赫々の戦果を  
宿敵米英蔣を粉碎する樞軸陣の旋風を  
戦ひ抜いてきた五箇年の勞苦は  
決して尋常一様なものではない





# 浙江江西作戦進む



支那事変五周年

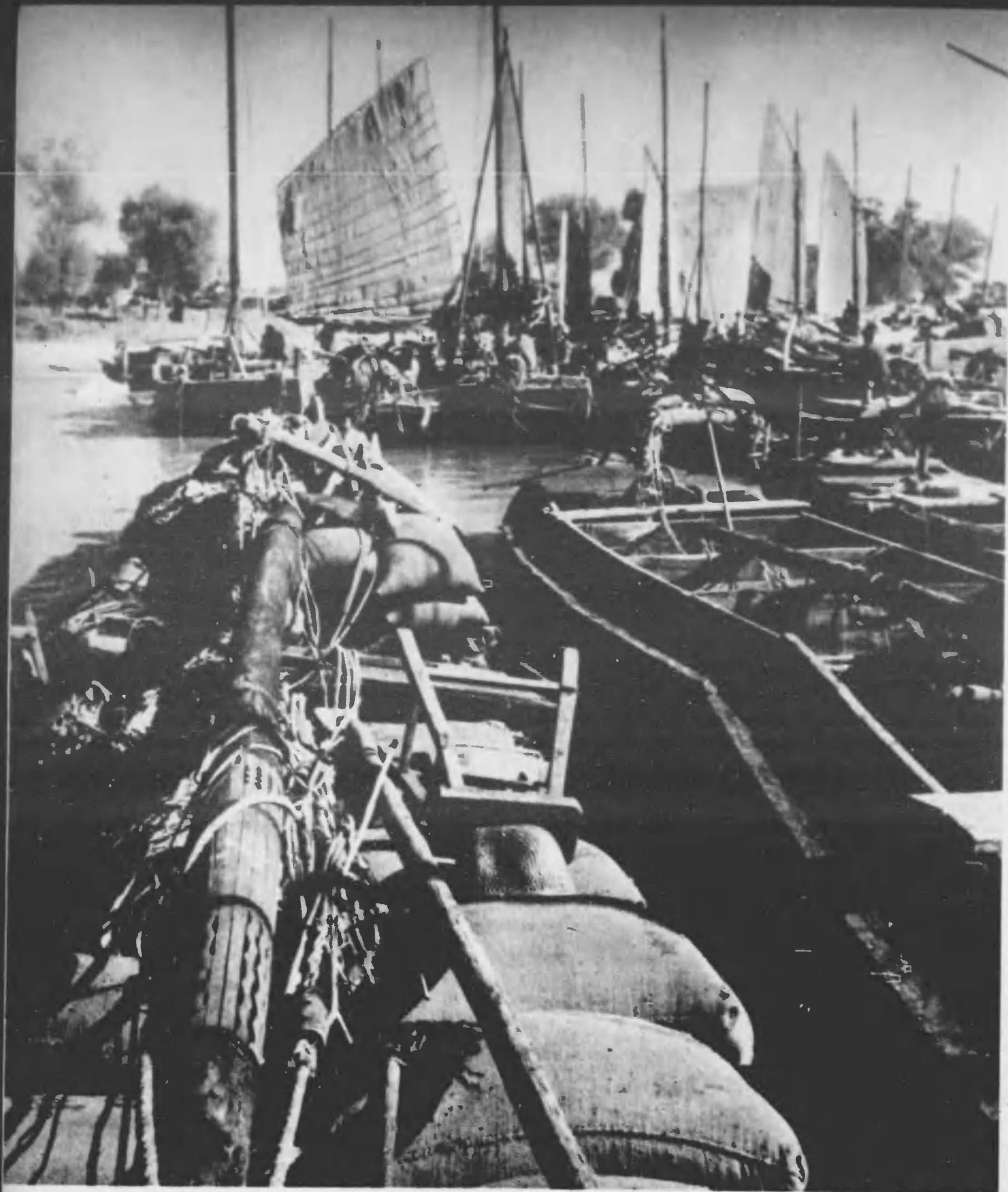
敵も悪路も物かは、空陸一體、ひた押しに進軍また進軍、敵第三戦區覆滅の日も近い

破壊した鐵路をあけてよため、いて退却する敵、小気味よく重機が江西の敵野に響く

敵の敷設した地雷を排除し、対岸の狙撃に應戦し、海軍浙江部隊は陸の精銳に呼應して水路の確保に、揚路遮断にと決死の活躍をつづける

敵前五十メートルに肉迫、退路を断つ海軍上陸部隊、(撮影支那方面艦隊報道部)





北支農民の汗に實つた糧穀の山

賣を積んで船出を持つ大清河新橋 (河北省)の大船

この四月末完成した(大清河)東燕 莊の通商式



# 秋の唄

と貨物の支北  
運水河内

專運五箇年、それは日本にとつても新中國にとつても忍苦に充ちた幾星霜であつたが、日華相結んでの體面によつて、こゝ北支の地は安民業の基礎地盤ができ、民衆は「活法子」(しかたがない)的考へ方から一轉して活潑な生活踏をかなでてゐる。一例を内河水運にとつて見よう

北支が電氣資源の寶庫であることは言ふまでもなからう。石炭、鐵礦石、タングステン等の礦産物や棉花、麻、紫雲英その他の農産物を満載して、汽車は廣漠北支の野に息を切らし、自動車その他の車輛は垣々たる道路に砂塵をあげ、また水運路には大小の帆船が豊かな秋の歌を唄つてゐる

このうち、現在までの水運路の主なるものは灤河、東北河、北運河、大清河等十數の水路で、その流域は北支五省二百五十餘縣に及び、その籽糧約五千キロ、民船凡そ一万二千餘隻、運送能力年五百萬噸といふ龐大なものである

運輸の繁盛はその土地の盛衰を現はすといはれる。北支一帯の機を繰るやうな運輸の忙しさ、これは北支自體の發展振りを物語るのでなければならぬ

# 水に路麦

支那事變五年周年



「うんと腹をこしらへて行かうよ」  
はりきる船頭の小孩

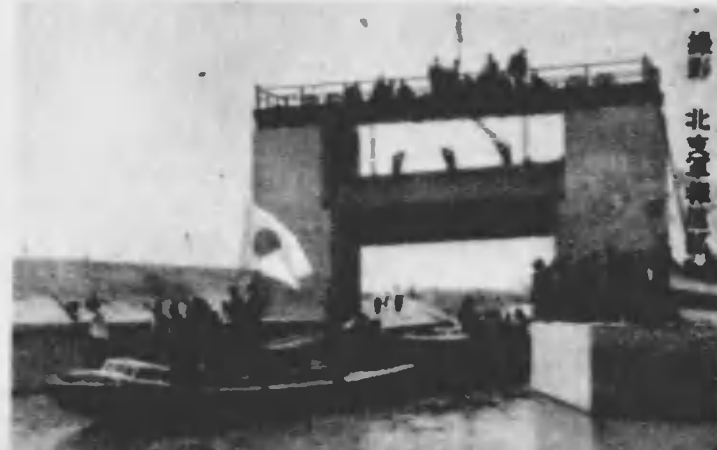
「おりがたい世の中になつたもんだ」  
が眞新しい船頭が  
で切れさう

★ ★

支 那事變まる五年、わが忠勇の將兵が大陣のあの街、あのタリクの激戦で流した尊い血は、その後見事な花となつて咲き誇り、今では滋味豊かな果實を結んで大東亞を生む貴重な礎石の一つとなりつゝある。健かに育つ新中國、これこそ支那事變が生んだ尊い果實でなければならぬ

われは、大東亞戰爭勃發以來、矢張り早に舉る南方の戦果に感激し続けたが、その合間にも、常に過去五年に見る大陸の血戦は忘れることができなかった。なぜなら支那事變の鮮々たる勝利によつて大陸が安定してをればこそ、南方に作戦し得たのであり、また北の守りも固かつたのである。まさに大陸の安定こそは南方平定の礎であつた

かくして、今や新中國は世界十一箇國の承認を受ける堂々たる獨立國





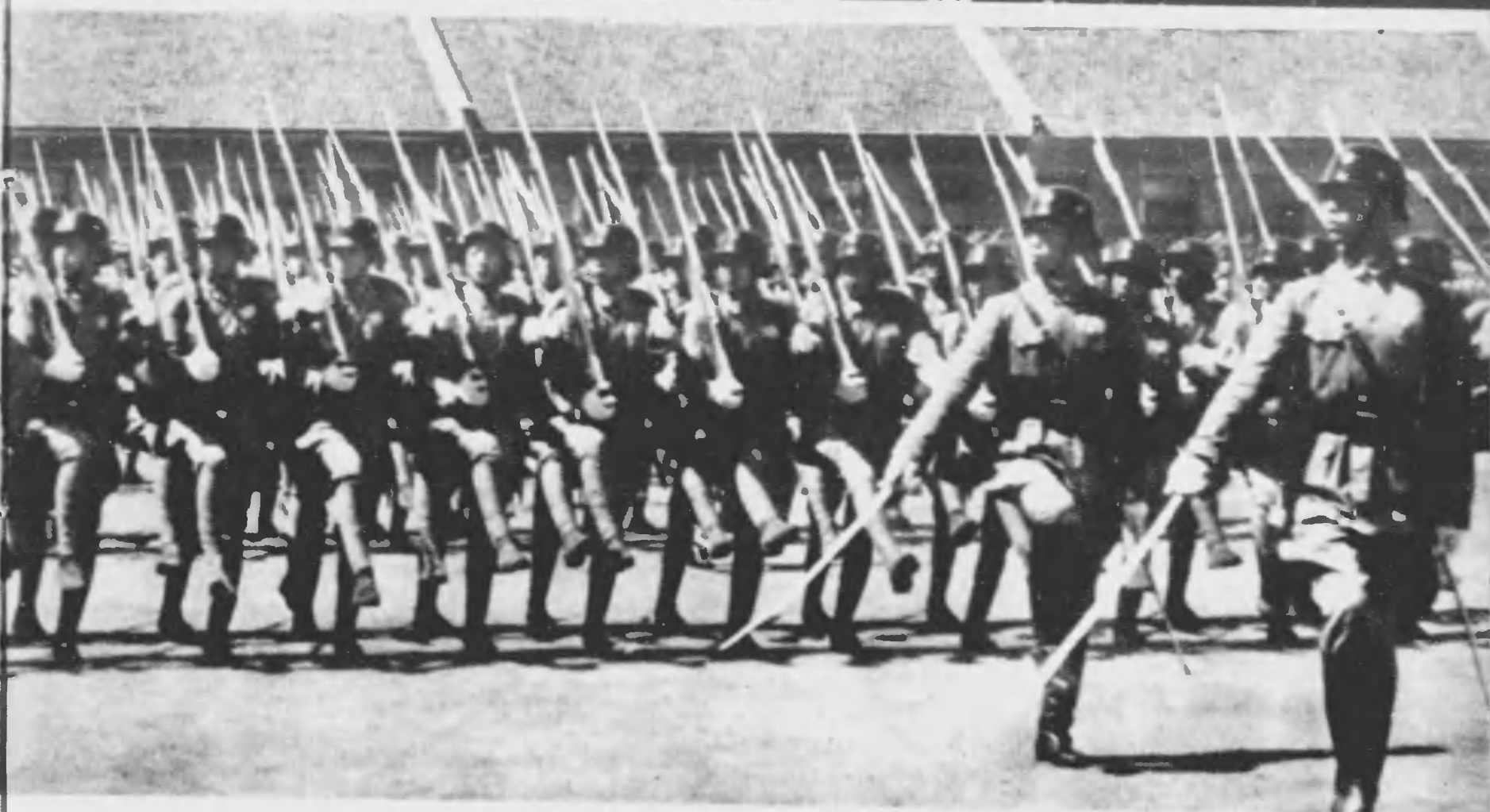
# くる明は陽の國中新

支那事変五周年



支那派軍報道部 撮影

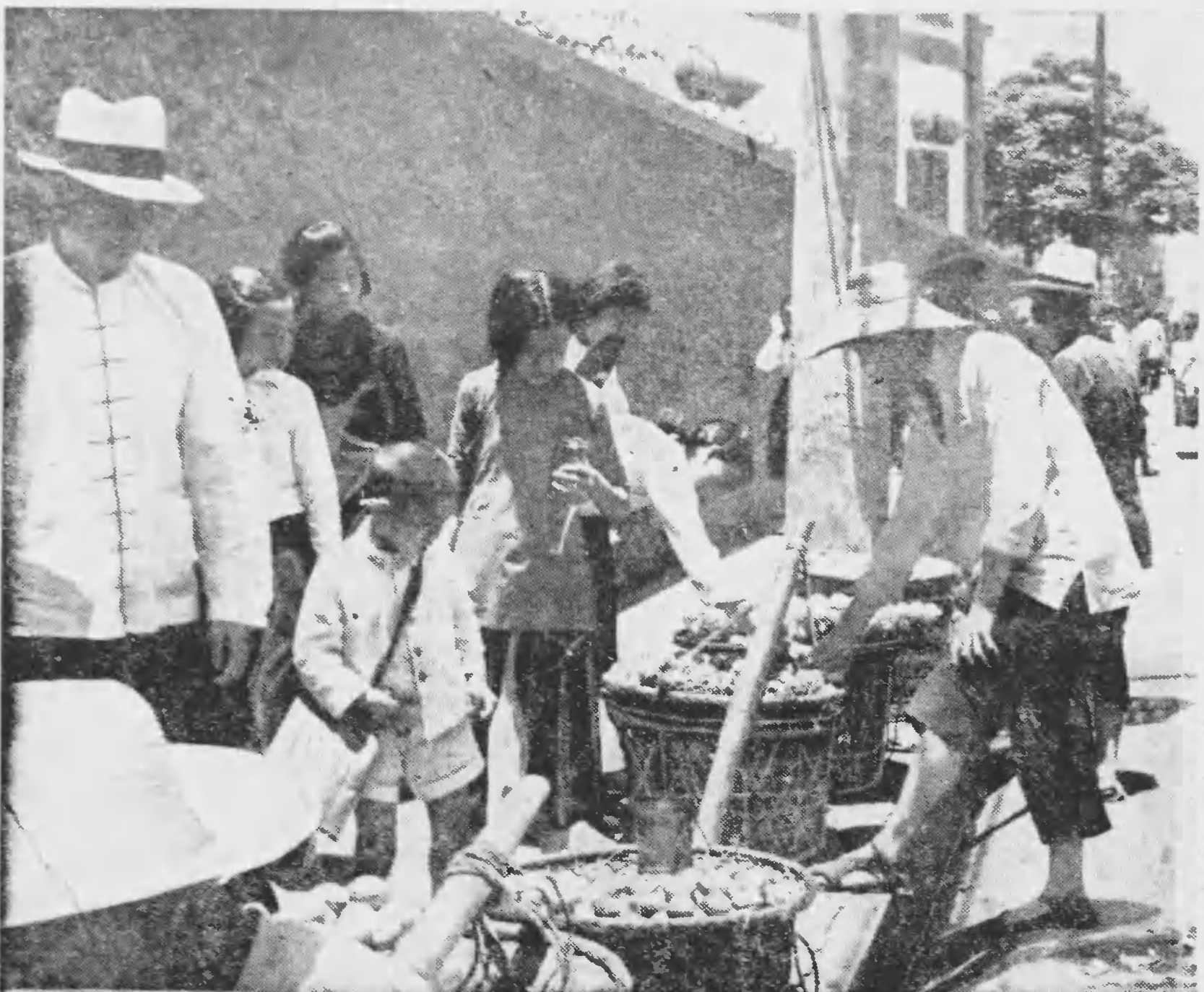
「歓迎する汪主席(右)と張特使(左)(六月九日) 張特使が細路司令官を訪問(六月十日)」



南京



「南京の重慶の空を飛んで、そして若さあふれる青年兵隊」



「新中國の國防を奮起する軍官と学生徒の訓練する分列行進」

「夏は五たがわづらつてきた。行きかふ人々の顔は明るさに輝き、力強い首都の聲音が聞える」

となり、また日獨防共協定にも参加した親権輔である。殊に日滿華の關係に至つては、水魚の交りにも比すべく、同甘共苦、大東亞戰爭完遂に協力する事は、動亂の世界にきき美しく映えてゐる。

即ち、わが國は國民政府を徹底的に育成強化する方針を以て、先に三位間の借款を供與し、また天津、廣東の租界を委譲する等、實際に國民政府を援助してきたが、わが國のこの厚情に對する新中國の喜びは非常なものであり、ごく最近にも五月二十九日國民政府特派大使が來訪、わが國と親善を共にする決意を新たにしているのである。

更に滿華の關係は、一昨年十一月三十日、日滿華共同宣言によつて明らかになされたが、これこそ、これまでの兩國間の氣まづい關係を一掃して兄弟の交りに立ち返させたものであつた。果して、その後兩國の外交には同じ大陳民族としての共感が湧きあつたにせよ、去る五月には汪主席が滿洲國を訪問、その答禮として特派大使張景惠氏が六月八日南京を訪ふといふ歴史的交感さへ行はれたのであつた。

かうして日滿華三國の血盟はいよいよ固く、形影相作つての大東亞建設はますます活潑となつてゆくことであらう。思ひ出新たな事變第五周年を迎へるに當つてかくも緊密な三者鼎立の盛況を見る、誰か長年に亘る大陸の將兵の勞苦を心から感ずしなないものがあらうか。

滿洲國各報特派大使張景惠氏の一行は、六月八日空路南京に到着、汪主席の訪滿に對し深甚の謝意を表した。が、首都南京の強特派大使歡迎陣は眞摯且つ盛大を極めた。



# 落日の重慶又は暗い

わが狂瀕下にくづれゆく重慶の形相

太陽に面するものは、背を向けるものは滅ぶ。これは自然の理である。この理をはつきりと現はしてゐるのが、現在の支那である。つまり、世界の轉換を認識して、皇國と協力、新東亞の建設に乗りだしてゐる國民政府治下の新中國は、明るく希望に満ち、米英の甘言を妄信していままほ無益な抗日戦を続けてゐる重慶政権下の奥地支那は暗い不安に苦しんでゐる。

この暗い支那の一面を支配するのが、それ自身暗黒な蒋介石及びその一味である。この一團があつては、明かなるべき大東亞が一部分警るのであるから、あくまで撃滅せねばならぬ。と同時に、新中國の明るさを増して、暗い奥地を照らさねばならぬ。過去五年、そして現在も、わが忠勇の將兵が黙々として華北の大陸に警備の剣と建設の斧を駆使してゐるのは、まさしくこのためである。

さて新太平洋の重慶海路として張り切る最近の上海に接し、橋が一つある。それは最近運動が盛んを極め、卓球、排球、野球、野球、蹴球、水泳等大衆的運動はなんでもござれで流行し、中國側の工場などはボールの製造が間に合はないので悲鳴をあげてゐるといふのである。これは何を物語らうか。戦争の重慶に押しつぶされて、気分がゆとりがなかつたら、決して運動などの流行してゐる餘裕がない。これはほんの最近で、しかし實際の一例に過ぎないが、新中國の動かな横顔は推して知るべきであらう。

國民政府主席汪精衛氏は、大東亞戦争を戦ひ抜き、新中國を建設するためには、中國の民衆が物心兩面に新趨勢を確立してゆかねばならぬとの趣旨から、今年の一月一日以來、全国的に新國民運動を展開してゐる。そしてこの運動に協力する具體的方策をか、けて率先、國民に範を垂れてゐる。

例へば中國軍隊に對しては大東亞戦争の眞義を徹底させ、また時間制を改め、節約を勵行し、郵便貯金の利率を増加して貯蓄を奨励するとか、一方農業改進、棉花改進、生産振興等の政策を決定して、『中國人の最大缺點たる行動の不規律さ』と思考の非科學さを捨て、生産を増加し、消費を節約しようとする努力を拂つてゐる。特にこの三月からは毎月八日を『東亞保衛記念日』とし、わが國の『大詔奉戴日』同様、大戦争完遂の覺悟を新たにす日としてゐることは、ま



ことにたのもしい過渡期である。また舊法幣(重慶券)の暴落につぐ暴落で自分の財産はいつたいていどうなるのかと不安な眼をしばつつかせてゐた商相界方面の民衆までが、この六月までの間に二對一の割合で儲備券(新中國の中央)と取り替へられ、こととなつてすつかり安心し大喜びである。

ところが經濟力となると、たゞ、鐵道されてゐる通り、悪化の一路を辿つてゐる。わが南方作戦が進むにつれてますますひどくなつてゆくやうである。重慶の今年度の豫算は百六十五億元で、このうち収入は六十五億元、残り百億元を公債の發行と法幣の増發によつて賄はなければならぬ。しかし公債の消化力は、たゞ、二十億元以上を發行することは不可能であり、強制貯蓄をして十億元以上は困難である。法幣を濫發して切り抜けてゆかねばならぬ。このやうにして、濫發された法幣が市場に溢れてゐると、重慶の金融、物價その他の經濟面が異常な状態を呈してゐる。自然のことである例へば、支那銀行が一本百五十元から二百元、植樹銀行が一本二十元、有輪銀行が五十元から百元といつたやうなまだまの値のやうな値段がいろいろと取せられてゐるが、物がないところへ紙幣だけ溢れてゐるのであるからこんなことにならぬのは當然である。また、さういふものはさういふ物價であるから、必然的に日常生活も異常である。重慶では今日、苦肉が一番涼しい新をしようといふことであるが、それはその苦肉である。苦肉の生活はそれ以下に成り下る。



下してゐることは事實である。特に民衆のうちでも心ある者や、若い学生青年などは、いやでも軍需の結核たる利と新中國の健全な發展が耳に入つてくるので、漸く支那の前途を反響する氣運が現はれてきてゐるやうである。例へば最近の浙江作戦でつかまつた浙江大學の文科一年生丁景偉(二五)はかゝる答へてゐる。

問 『汪精衛氏の和平建國運動をどう思ふか』  
答 『はじめ抗日の闘將であり、われわれ學生の敬愛する第一人者であつた汪先生が和平運動に傾いた時は不可解な思ひがしたが、世界の日本の進展を見て、汪先生の遠眼に感服するやうになつてゐる』

問 『抗日の前途にまだ希望を持てるか』  
答 『抗日の勝利といふことに客観性がないことは最早分つてゐる。自分個人の氣持としても、機會があれば和平陣に走りたくは思つてゐる』

それでは、『重慶は間もなく参つてしまふだらう』と考へる人があるかも知れない。しかし、われわれはさう性急であつてはならない。これは支那大陸で身を以て支那の特性を知つてゐる人には十分理解できることであるが、要するに支那の弱いことは世界の定評があり、戦争にはいつも敗けてゐるが、未だ背でんだことがない。このやうに参らない不思議な特性がなか／＼強いののである。そこで重慶の奮闘を以てするに参るとみると誤算が生ずる。しかも猛烈な宣傳を煽弄してまだ、米英の援助と勝利を信じてゐる連中が多いのであるから、決して馬鹿にはできないのである。ともあれ、重慶は衰弱し、南京は榮える。たとへ、現在のところ實際において重慶にまだ多少の生存力があり、南京側に少く苦難の面があつても、結局はさうなつてゆくのが自然の運命であらう。



空しき形骸をさらして重慶の現状を知らせてゐる。

空しき形骸をさらして重慶の現状を知らせてゐる。



# 廣東省



新戦場 廣東省

南洋よりの密輸ルートの基點として戦力充實を謀語して来たものが、こんどの作戦で彼らの戦力低下が遺憾なく暴露されるに至つたわけです

廣東省は東部の一方が南支那海に臨んでゐる外、北方の湖南、江西、福建省との境

界は有名な五嶺即ち大庾嶺、始安嶺、臨賀嶺、南陽嶺、潯陽嶺の山脈が並び、從つて南方のデルタ地方と北江、西江、珠江沿岸の平原を除いては廣東もまた全省の大部分が山また山のつながりです

廣東省の面積は約二十万七千二百二十平方キロで、人口は三千五百萬餘を數へ、住民は漢人種に屬してゐますが、廣東固有の本地と北方から移つてきた客家とに區別されます

支那大陸における廣東省は西洋文化のアンテナともいはれてゐますが、思想上からいへば南支



保安隊の隊員も遠く、抗



山のやうな荷車を前向き後向きで



戦地を渡る廣東省の婦女たち

「抗戰救國」から抗戰亡國へ、わが万里の涯なき進撃の前に、いまや指揮系統も亂れ果て、全面的に崩潰の一途を辿つてゐる敵の抗戰地區のうち、廣東省には第七戰區余漢謀軍の主力が配置され、昭和十三年十二月わが軍が廣東を制壓した後もなほ廣東奪還を企て、蠢動をつづけ、南支の感とさへいはれてゐました

わが南支派遣軍の精銳部隊はこの南支の感に大きなメスをふるうべく、五月三十一日突如行動を開始し、早くも従化、鳳院をはじめ敵の前據點を次々に占領確保し、さらに戦果を擴大してゐます

廣東省は東部の一方が南支那海に臨んでゐる外、北方の湖南、江西、福建省との境

江、珠江の流域などに各種の産業が行はれてゐますが、いづれも設備など古く積んで振るつてゐません。産業が振るはない理由としては戦火が相次いでおこつてゐること、工業動力である石炭の産出が少ないこと、労働賃銀が高いこと、労働者の思想が強化してゐることなどいろいろ挙げられます

廣東は昭和十四年一月汪精衛氏の第二次聲明以來現國民政府發祥の地となり、このほど思ひ出も新たに汪主席の東渡を迎へましたが、現地のわが軍當局等は、これを機會にかつて廣東政略とともに日本軍管理下にあつた兵器、圖書、病院等を廣東省政府に提供し、躍進一途にある廣東省政府をはじめ、本省官民に多大の便宜を與へ、支那日本の親ら以て友誼を示しました



若し交通の要路のゴースト



廣東省の建設と交通の要路

昔から南船北馬といふ言葉が示してゐるやうに、南支廣東には珠江をはじめ東江、西江、北江、韓江などい

江、珠江の流域などに各種の産業が行はれてゐますが、いづれも設備など古く積んで振るつてゐません。産業が振るはない理由としては戦火が相次いでおこつてゐること、工業動力である石炭の産出が少ないこと、労働賃銀が高いこと、労働者の思想が強化してゐることなどいろいろ挙げられます

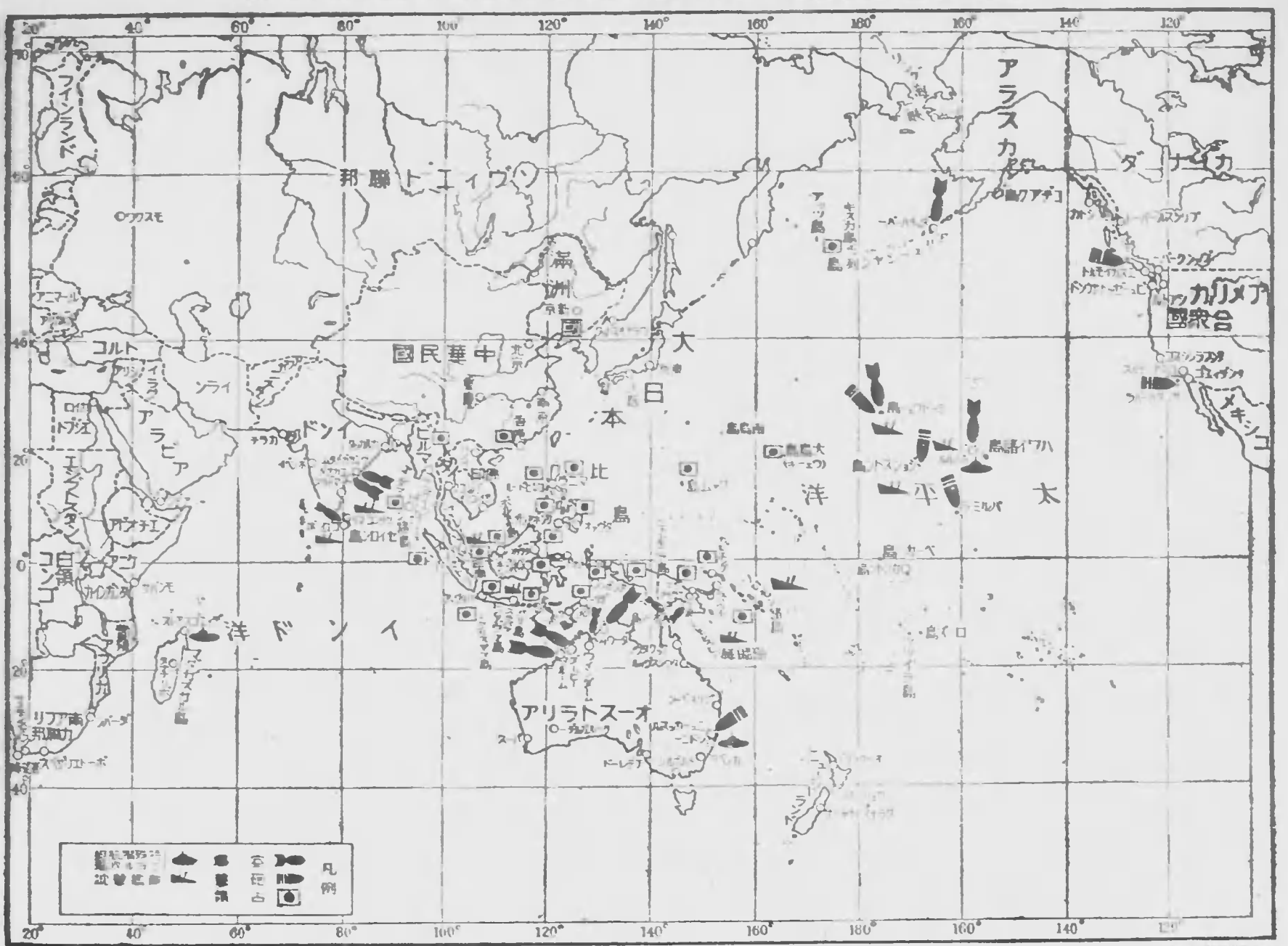
廣東は昭和十四年一月汪精衛氏の第二次聲明以來現國民政府發祥の地となり、このほど思ひ出も新たに汪主席の東渡を迎へましたが、現地のわが軍當局等は、これを機會にかつて廣東政略とともに日本軍管理下にあつた兵器、圖書、病院等を廣東省政府に提供し、躍進一途にある廣東省政府をはじめ、本省官民に多大の便宜を與へ、支那日本の親ら以て友誼を示しました







★ ★ ★ 大東亞戰爭圖 ★ ★ ★



**ゴム林に佇み**  
川井幸一

あゝ、こゝも戦場の中だつた。  
まひる、寂として音なきゴム林に佇んだ戦帽は、  
しみじみと自然の大きな平和さに打たれた。  
木立を揺れる陽の光が遠くまで照らす。  
それが、野から、丘へ、山へ、  
丁度それは汗なき海底のやうな静けさ。  
軍靴に草をからませて、  
やがて、開拓の使者にならう。  
昨日、虚榮と逸樂の夢に繁茂を強ひられたゴム林  
今日こそ、鮮血と砲弾に絶ては扶はれ  
樹林の葉の裏までも  
すき透るやうに明るい南国の陽さし  
あゝ、尊いアジアの資源は  
こゝに  
永久の青春を踏はにして新しい人々を待つてゐる

ら か - レ マ

**大東亞戦争日誌**  
一六 月

十六日 ●支那派遣軍の中  
支那三戦區軍は敵軍に  
立直る態勢を與へず、西進部  
隊は十五日一撃に敵軍の本  
據上陸を攻撃、東進部隊は十  
六日遂に済南線の要衝膠済お  
よび賈津を相ついで陥れ、こ  
こに敵第三戦區は崩潰

十八日 ●さきに發表され

二十日 ●海軍軍は十三日  
以来四日間わたりポート  
ダーウィンを空襲、敵機四十  
六機を撃墜すると共に敵残存  
軍艦に大損害を與ふ、本  
攻撃において我方二機を失



日タイ同盟慶祝答禮使節 廣田弘毅氏

帝國政府は、さきに  
タイ國前首相ピヤ・パ  
ホン中將を首班とした  
日タイ同盟成立慶祝使  
節の來訪を受けたが、  
今回わが方からは、こ  
の答禮のため元總理大  
臣廣田弘毅氏を首班と  
した答禮使節を派遣す  
る

日タイ同盟慶祝の答  
禮に赴く廣田特派大使  
は

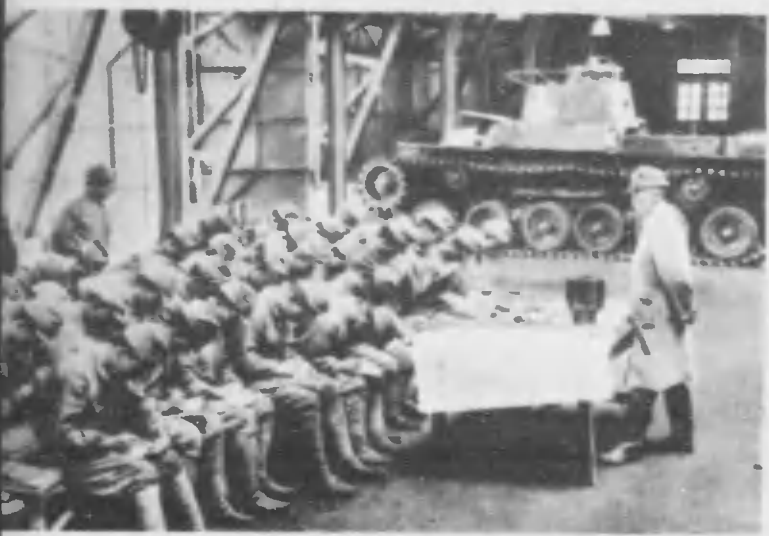
タイ國には一度も行  
つたことはないが、  
外務大臣をしてゐた  
時タイ國から軍艦の  
注文があつたり、ま  
た南京米といはれた  
外米の買つけもした  
から全然タイ國と交  
渉がなかつたわけで  
はない  
何としてもタイ國は  
昔からアジアにおけ  
る毅然たる獨立國だ  
一度は行つてみたい  
と思つてゐた矢先の  
の襲撃だ。老將に兼  
うつて大いに御奉公  
したいと思ふ

と、出發を前にして忙  
しい中をこのやうに語  
つた





▶ けふは第〇練習隊技兵の機甲整備基礎學びに夜間を含む野外演習である。戦車は轟々と演習場に向。



▶ 左 演習場では戦車の分解、組立が何回も行はれてゐる。車體の構造やエンジンの構造など理論的な講義を聞く技兵



▶ 校内の練習場ではエンジンの分解調整が行はれてゐる



# 作者

東京

の陸軍に於ては戦車や装甲車、歩兵車、自動車などの機甲兵器の整備に従事してゐる地味な整備員の勞苦をも十分に述べねばならない

# 機甲部隊の醫者

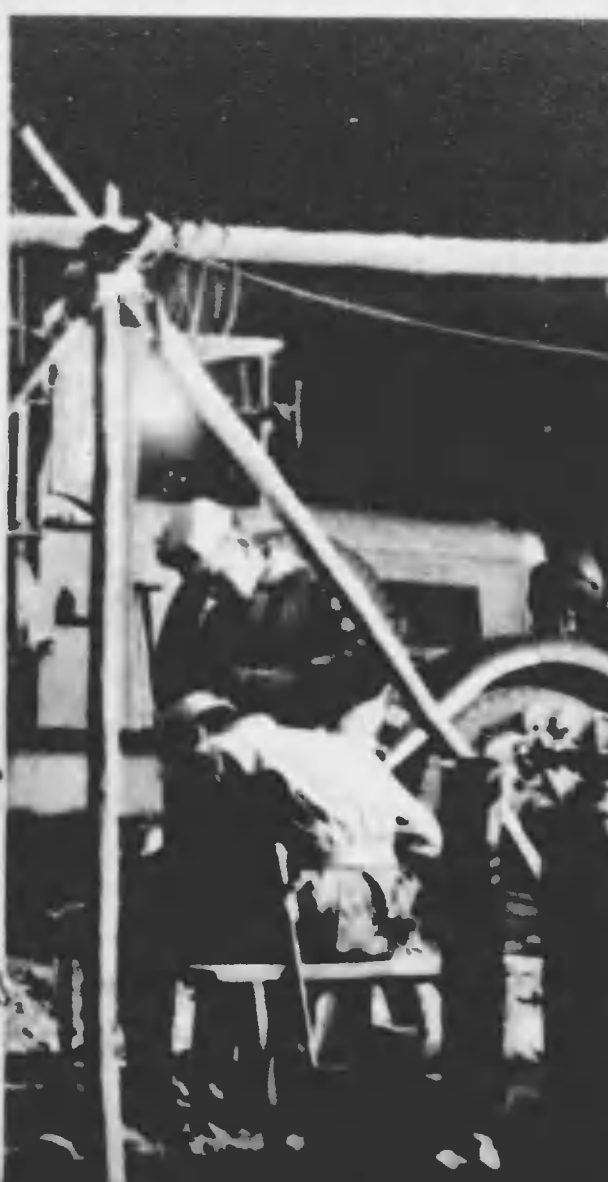
陸軍機甲整備學校

大東亞戦争におけるわが機甲部隊の活躍は實にめざましいものがある。かの壯烈極まりないスリムの噴進戦を初めとしてジツトラ・ラインの突攻作戦などはその好例であるが、機甲部隊特に戦車の活躍は地上部隊の補給を阻害し、遺憾なく發揮した。われわれは今回の南方作戦において機甲部隊が果たした大戦果に快哉の叫びを上げるが、この戦果

戦野にある機甲部隊は晝と夜となく、嵐の日も、スコールの日も、ジャンダルも、湿地も、山も河も、どん／＼つき抜け、最もよい機会を狙つては敵を奇襲する。整備員はまたこれらの部隊に加はつてあらゆる作戦に従ひ、部隊主力の戦力が激しくなり、軌道力か延びれば延びるほど、故障車や破損車ができてきて整備員の活動は倍加され、苦勞は加重されてゆく。しかも整備員は懸命の機に臨んで整備器具を捨て、兵器を執り敢然として戦場ともなるのである。

陸軍機甲整備學校は今後益々擴充強化され、多く機甲部隊に備へて各部隊より派遣せられる學生(將校、下士官)及び幹部候補生に對し機甲車輛の整備に關する一切の教育を行ふと共に兵技兵の教育練成に當つてゐる。

左 演習場では戦車の分解、組立が何回も行はれてゐる。車體の構造やエンジンの構造など理論的な講義を聞く技兵



▶ 天下—輸送車の分解整備演習は続けられる

▶ 機甲部隊の活動は晝夜の別がない。移動工務ともいへる修理車を出動した機甲部隊の整備作業





# いよいよ早く敵機 いづぐも来い

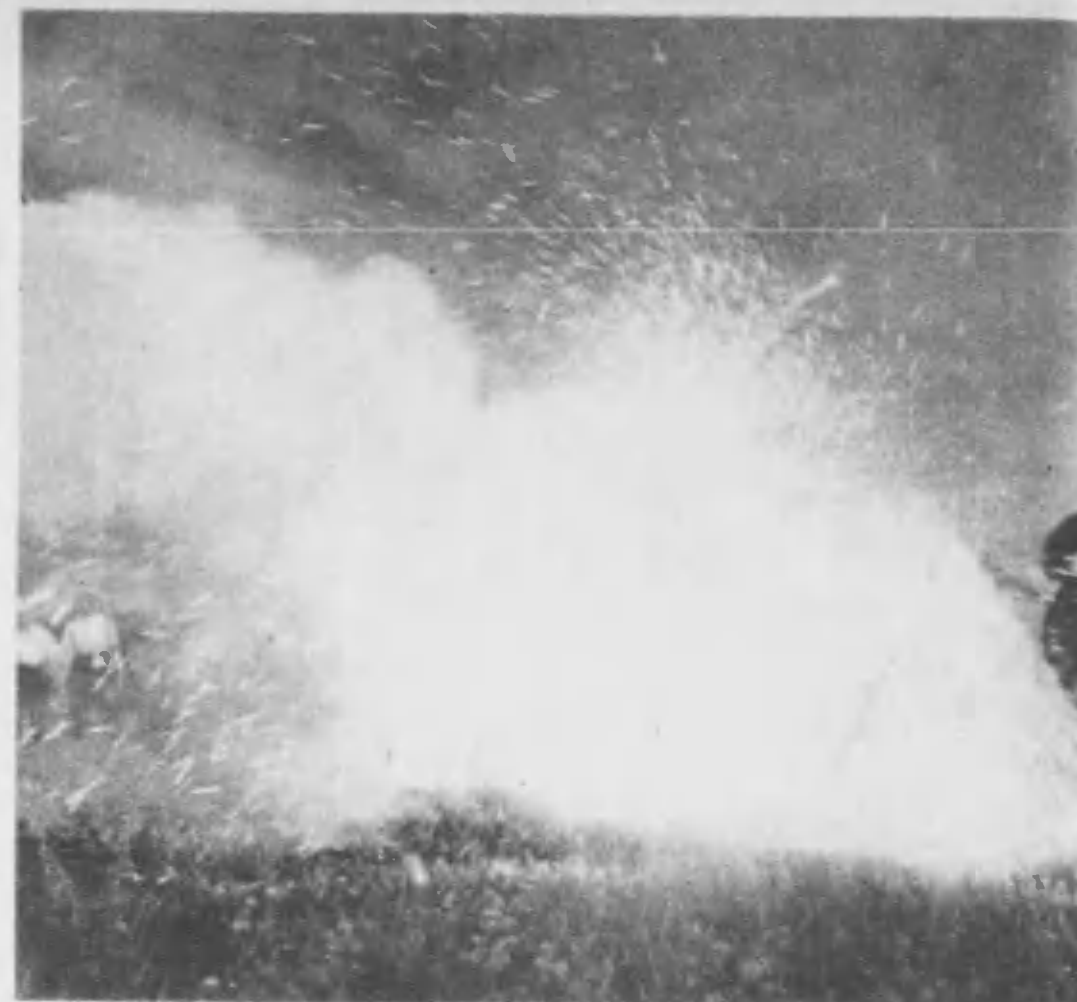
女子防災訓練指導者錬成会 岡山市



焼夷弾だ、塵をかけるにも砂をかけるにも、まつ心を落ちつけなければ、火を消すことはできません

椅子にのぼつたら足はこのやうに——これで席もベケツも自由に使へます

あつ、屋根に使夷弾が——みるく椅子を待つてねれ落が屋上、乙女の手を通して送られます



簡易煙幕、二本竹と六、七メートルの紐を用意しておけば、ほんの一、二分で手軽に出来上ります

女は女らしく、簡易に乗せるにも両脚はどちらかへ揃へてあげませう



会場にすらりと集いた非常かまどに炊飯の用意、錬成中の食事は各班交番で作られます

寒間習った防霧面のつけ方を、組合に貸してもう一度なごやかな園樂の場に復習してみました

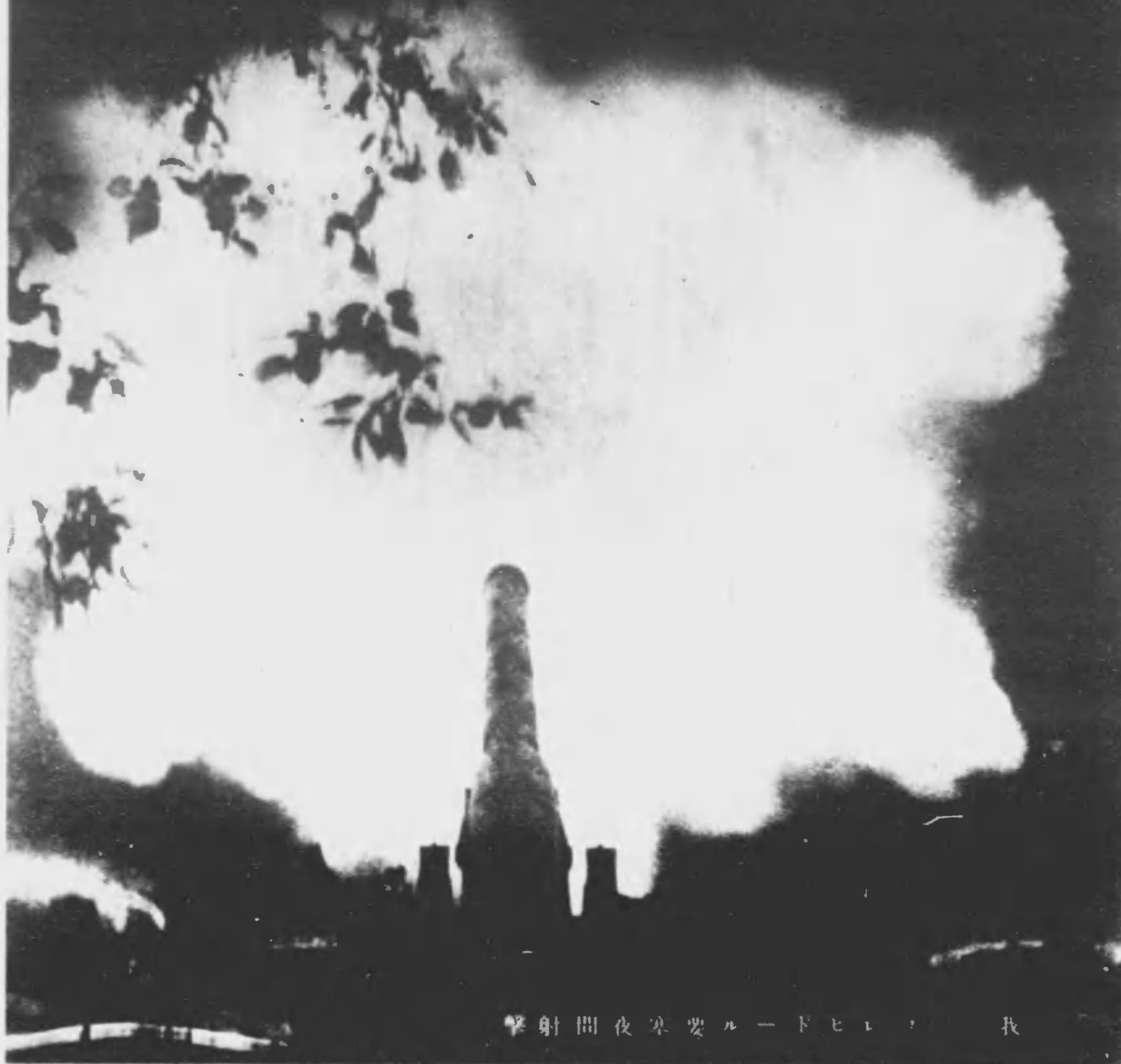






写真週報 昭和十七年八月十七日 東京 陸軍省 印刷局 印刷

# ウソと蓄めどと撃て



我が下ルル要夜間射撃

## 割増金附

# 戦時郵便貯金切手

だんぐんわきんつて

一枚一円 二枚二円 三枚三円 四枚四円 五枚五円 六枚六円 七枚七円 八枚八円 九枚九円 十枚十円

毎日月八日かからし出す  
切手ぬめ申にお早く郵便局へ

(列所郵便) A4規格定額は33大の書本

内閣印刷局印刷發行